

# 医学研究実習（ベーシック）

科目責任者 藤 田 朋 恵  
学年・学期 2 学年・3 学期

## I. 前 文

本科目では、学生が少人数グループとして研究実習先に配属され、そこで教員の指導のもと、医学研究実習を行うものである。研究は、基礎研究、臨床研究、疫学研究、生命科学研究等から構成される。4月にオリエンテーションを行い、各教員から出された特徴ある研究テーマを学生に紹介する。アンケートにより学生の希望する研究テーマを調査し、教員の学生受入れ可能人数とすり合わせることで、各学生の配属先を決める。学生は配属先で研究を行い、得られた研究データを解析、考察し、終了後にプレゼンテーションファイルとして提出する。

実技で得られる経験は財産であり、講義で学んだ内容の理解の一助になるだけでなく、研究に興味を持ち、その重要性を理解できるようになることが期待される。第4学年の医学研究実習（メディカル）へつなげ、より発展させていくことも期待される。

## II. 担当教員

基礎医学講座教員、臨床医学講座教員、先端医科学研究センター教員、実験動物センター教員、教育開発・国際交流センター教員、基本医学教員

### III. 一般学習目標

・学習意欲を高め、将来の医学への探究心を涵養する。

## IV. 学修の到達目標

- 1) 研究のプロセスを理解し、研究内容をまとめることができる。
- 2) 研究は医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。
- 3) 研究実習で得た知識を基に、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。

## V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)  
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション  
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
	4	16	木	4	医学研究実習（ベーシック）オリエンテーション	矢澤卓也 上杉奈々	6
		16	木	5	医学研究実習（ベーシック）オリエンテーション	市瀬広武 藤田朋恵	6
1~7	1	27	水	1~7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
8~14	1	28	木	1~7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
15~ 21	1	29	金	1~7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
22~ 28	2	1	月	1~7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
29~ 35	2	2	火	1~7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
36~ 42	2	3	水	1~7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
43～ 49	2	4	木	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
50～ 56	2	5	金	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
57～ 63	2	8	月	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
64～ 70	2	9	火	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
71～ 77	2	10	水	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
78～ 84	2	12	金	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
85～ 91	2	16	火	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
92～ 98	2	17	水	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
99～ 105	2	18	木	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
106～ 112	2	19	金	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
113～ 119	2	22	月	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
120～ 126	2	24	水	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
127～ 133	2	25	木	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
134～ 140	2	26	金	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
141～ 147	3	1	月	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
148～ 154	3	2	火	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
155～ 161	3	3	水	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
162～ 168	3	4	木	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
169～ 175	3	5	金	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
176～ 182	3	8	月	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
183～ 189	3	9	火	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4
190～ 196	3	10	水	1～7	医学研究実習（ベーシック）	配属先教員	4

#### VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

以下のとおり成績評価する。（ ）内は評価の割合。

ルーブリック評価（100%）

ルーブリック評価は、担当教員により、事前学習の理解度、出欠状況、実習中の態度、提出物の評価等によって行う。

#### VII. 教科書・参考図書・AV資料

担当教員に任せる。配属講座決定後は、前もって担当教員と面談する等の準備が必要である。

VIII. 質問への対応方法

担当教員に質問する。実習期間中は常時質問を受け付ける。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
<b>医師としてのプロフェッショナリズム</b> 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	
<b>能動的学修能力</b> 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	○
<b>地域医療の理解</b> 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	
<b>国際性</b> 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	
<b>リサーチマインド</b> 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	◎

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

担当教員の課題内容（実験ノート作成やプレゼンテーションファイル等）について、間違いや誤解が多い点を実習中に解説する。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

シラバス別冊に記載。

XII. コアカリ記号・番号

RE-01-01-01, RE-01-01-02, RE-01-02-01, RE-01-02-02, RE-02-01-01, RE-02-02-01, RE-03-03-01, RE-03-03-02, RE-03-03-03, RE-03-04-01, RE-04-01-01, RE-05-01-01, RE-05-02-01, RE-05-02-02